

学校名

与論町立茶花小学校

採択活動名

ユンヌの海を守りたい

実施単元

単元名	学年	教科
1. もっとヨロンを知ろう	3 学年	海洋教育
2. 海からの贈り物	4 学年	海洋教育
3. ヨロンの海とわたしたち	5 学年	海洋教育
4. ヨロンのタカラ発信	6 学年	海洋教育

取り組みの概要

3年生は「海を知る」4年生は「海に親しむ」5年生は「海を守る」6年生は「海を利用する」を中心テーマに、海洋教育推進協議会と連携した体験活動を位置付け、言語活動の充実を図りながら海洋教育における探究課題の開発と実践を行った。

3年「もっとヨロンを知ろう」

5月「与論のいいところを見付けよう」をテーマに、赤崎鍾乳洞やサザンクロスセンターを見学した。12月「与論の海と島の人々」の中で、与論島民の安全な暮らしを守ってくださる消防署を見学した。いずれの活動も社会科と海洋教育を横断的に学習した。2月「教えてアップ・パーパー」の中で山下友梨香先生に三線やアジニッチェー、アップドーナタなど与論の実話や民話を教えていただいた。また、子供たち自身もタブレット端末や本などで与論の伝統や文化について調べることで、故郷与論を大切に思い、後生にも語り継いでいきたいという気持ちを高めていた。



4年「海からの贈りもの」

1学期は与論の魚について図鑑やインターネットで調べ、与論の魚を題材としたカードゲームを作成した。また夏休みには親子レクリエーションとしてB&Gの海遊びツアーに参加し、サップやメガサップ体験、珊瑚や魚の観察を行った。

2学期は潮干狩りや釣りに出かけ、魚の捕獲や観察をしたり、潮の満ち引きについて学んだりした。捕まえた生き物は学校の水槽で飼育した。3学期は海洋環境の保全や海洋教育に力を入れているカリブ海の国々の方と交流したり、同じく海洋教育を充実させている新潟市立真砂小学校の児童と交流したりして、海洋環境に少しずつ目を向けさせた。



5年「ヨロンの海とわたしたち」

今年度は、「小さな一歩を大きな一歩へ～持続可能な活動を目指して～」をテーマに掲げ活動を行った。1学期は、課題設定と解決方法の検討を中心に、2学期には解決に結びつく体験活動の実施、3学期には、実施したことの考察と、まとめたことの表現という学習過程で探究活動を行った。また、活動の随所でG Tを迎え、ヨロン島の海の現状や自然環境について話をしていただいた。

その他にも『おさんぽ BINGO』のプロジェクトに参加し、島外に伝えたいヨロン島のよさをパンフレットにまとめていったり、与論漁業協同組合の協力のもと、サンゴの増殖体験活動を行ったりと、年間を通し体験的な活動を取り入れていった。

その後、『おさんぽ BINGO』のPRで作成したポスターやうんじゃみさんとのコラボで作成した「海を守ろう」を伝えるためのポスターを島内中心に掲示し、これまでの学習活動をスライドでまとめ発表した。



6年「ヨロンのタカラ発信」

今年度は、社会科及び理科の学習内容に位置付けられてある「SDG s」を視点を、我が町が抱える問題やそれに対する解決策の提案を軸に探究活動を行った。

児童がもつ課題を大まかに分類し、6つの探究班で年間を通した課題解決型学習を進めた。1学期は、課題設定と解決方法の検討、2学期は解決に結びつく体験活動の実施とその考察、3学期はそれらをまとめ、表現する活動という学習過程で探究活動を行った。

そして、学習の成果発表の場として、1月の与論海洋教育フェア、3月のゆんぬ学フェアを設定した。

年間にわたり、多くのG Tの協力を得たことで、子供たちはダイナミックかつ有意義な学びを実感することができた。

